

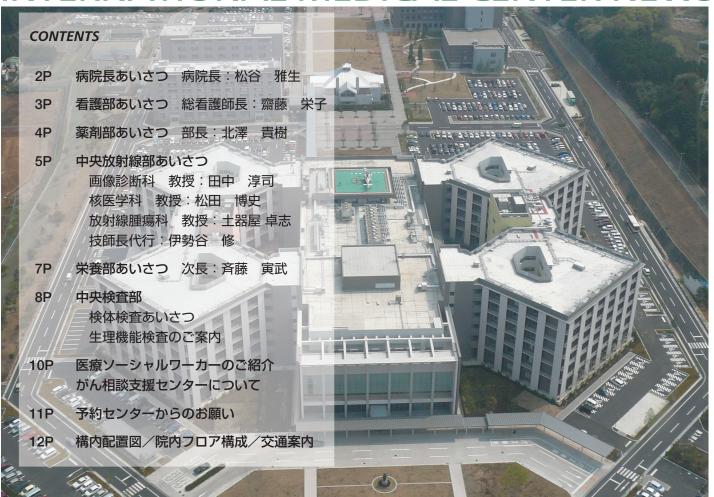
## 埼玉医科大学



http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/index.html

# 国際医療センターニュース

### INTERNATIONAL MEDICAL CENTER NEWS



撮影:埼玉県防災航空隊

基本理念 : 患者中心主義のもと安心で安全な満足度の高い医療の提供をし、かつ最も高度の医療水準を

維持する。

使 命: 当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、

かつ高度の救命救急医療を提供する。

基本方針 : 患者中心主義 (patient-oriented) を貫き、あらゆる面で "患者にとって便利" であることを

主眼とし、患者ひとりひとりにとって最も適切な医療を提供する。

あい

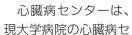
j

病院長:松谷 雅生

本年4月1日に日高キャンパスに埼玉医科大学国際医療センターを開院しました。開院に伴い、大学病院に入院中の患者約110名を4日間で無事移動いたしました。この移動には近隣の救急隊の多大なるご支援を頂きました。紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

この新しい病院は、3km離れた埼玉医科大学病院と密接に協調して一つのメディカルセンターを形成し、その中で生命に関わる三大疾患であるがん、心臓病、および脳卒中を中心とする救命救急疾患を治療する病院です。病院の使命として、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供することを掲げています。

がんは全身疾患です。がん治療の基本は、各臓器のがん 専門医が叡知をしぼり共同して治療することにあります。 包括的がんセンターは、「包括的」にふさわしい治療施設 を目指し、がんに罹患された方を、腫瘍内科医、腫瘍外科 医、放射線腫瘍医、精神腫瘍医、および緩和医療医が協同 して治療にあたります。がんとの長く困難な戦いの中で、 患者はさまざまな身体的、精神的苦痛とともに、治療に伴 う種々の問題(医療情報、心のケア、在宅治療など)が生 じます。これらの苦痛や悩みを和らげることもがんセン ターの重要な役割であり、緩和医療科と精神腫瘍科が主 として担当し、さらに「がん相談支援センター」が医療情 報の提供や闘病の間の社会的、経済的な問題の相談に応 じます。がんに罹患された方に最も適切な治療を行い、治 療に伴う種々の問題を支援し、その積み重ねががん医療 の進歩に寄与できるようながんセンターの構築と運営に は、そこで働く全ての 医療人の絶え間ない地 道な努力が求められま す。それに加えて、周 囲医療機関との連携 と、がんと闘ってい 方々やご家族の理解と 協力が不可欠です。 は 様の御協力を御願いし ます。





ンターがさらにその集約度を増し、より発展した形で移転致しました。新生児の先天性心疾患から成人・高齢者の心臓病までを広く扱い、補助人工心臓治療の他、両心室ペースメーカー、植え込み式除細動器、心臓血管内治療などの特殊専門治療を駆使して治療にあたっております。

救命救急センターは文字通り三次救急施設として活動します。脳卒中はセンター内の脳卒中センターの手術治療、血管内治療および薬物治療の専門医が二十四時間体制で治療にあたります。急性心不全に対しては前記心臓病センターに収容致します。重症多発外傷とその他の急性重症疾患は、救急専門医が中心になり対処しております。

このように国際医療センターは、「いまある生命の危機」 の医療を中心にいたします。そして、大学病院との緊密な 連携により機能的にはひとつの高度なメディカルセンタ ーが誕生いたしましたことをご報告いたします。



あいさつ

看護部

総看護師長:齋藤 栄子

#### 埼玉医科大学国際医療センター開設によせて

#### 看護部の理念

「私たちは、一人ひとりを尊重し、良質で満足度の高い看護をめざします」

新緑の豊かな日高の地に21世紀の新しい病院を目指して、平成19年4月1日埼玉医科大学国際医療センターが開院しました。

綿密な移転計画とシミュレーションに基づいて、4月1日大学病院の患者さんと新規入院の患者さんを合わせて93名の入院患者さんを受け入れることができました。1週間後には入院総数213名と増加傾向を辿っています。患者さん・各救急隊の方をはじめ、多くの方々のご協力とご指導の下につつがなく移転できましたことを心より感謝します。

患者中心主義を実践していく埼玉医科大学国際医療センターは、全600床の内108床がICU系のベッドです。看護師の配置人員が多く常に看護師が患者さんの傍にいますので急変時の対応もすばやく、安心な環境で治療や看護を提供できると思います。また、重症の患者さんと回復期の患者さんの入院病床が区分されていますので、病床集約化により最適な看護ケアが提供できます。まだ開設したばかりですので、院内で迷子になっている看護職員がいますが、看護師の志気は高く、新しい病院の基礎を作ろうと目が輝いています。専門看護師・認定看護師もそれぞれの場所において専門性を生かしてチーム医療の中でパワフルな活動を開始しました。病院の役割をはたすコミュニケーションと情報の共有化をキーワードに、他職



種と連携を図りながら業務を進めています。

女性看護師のユニフォームを紹介いたします。埼玉医科大学の経営理念「限りなき愛」を写真のようにTPO別に使い分けました。エントランスホールではもてなしの心を表し、外来、入院はエプロン姿で信頼を表し、集中治療室はパンツスタイルで迅速を表します。バックの絵は四葉のクローバですが、四葉は建物の形と緑豊かな大地を表し万人の幸せを願ってクローバにしました。

今、全看護職員が一緒に作り上げる取り組みが既に始まっています。

建物や設備のハードが最新のものになって、今度は私たち看護職がソフトの部分の質を上げていく番です。患者さんとそのご家族の満足と同時に私たちも満足できる看護を提供したいと思っています。私たちは、患者さんから選ばれる病院作りをめざして着々と歩んでいきますので宜しくお願いいたします。



3

薬剤部

部長:北澤 貴樹

さっ

薬剤部は総勢38名の精鋭と6名の新人が集まり、数年後の薬剤業務のあり方を示す体制作りを行っていきたいとの方向で全員が一丸となって歩んでいます。今後の業務とは①サテライトファーマシーを基点とした病棟業務の充実、②薬剤師による抗がん剤・IVH製剤の混注業務、および③サテライトファーマシーを支援するためのセントラルファーマシーの充実など、新しい薬剤部像を構築中です。



サテライトファーマシー

そのため、調剤業務は外来を「院外処方」(後述)とすることを基本として、画像監査装置の導入、自動錠剤分包機による定時入院処方のワンドーズ化、そしてアンプルディスペンサーや種々の調剤機器を導入などにより薬剤業務の軽減と簡素化をはかりました。さらに今まで行っていた注射薬・内服薬の病棟への搬送もSPDの導入し、夜間や緊急時は気送管を用いるなどの運用を構築し、病棟薬剤師の効率化もはかりました。



画像監査装置





アンプルディスペンサー

#### <院外処方のお知らせ>

上記の理由で、当センターにおいて外来処方は「院外処方」となっております。院外処方は国が推進している医薬分業に基づいて行われています。医薬分業の最大のメリットは、医師と薬剤師が各々の専門分野で業務を行うことにより患者様の医療の質を向上させるとともに、医薬品の適正使用をはかるというところにあります。当センターでは適正な医薬分業を実施するため、地域薬剤師会等との密な連携を図り患者様がスムーズにお薬の受け渡しが出来るよう努力しております。

また、各コンシェルジュにファックス送信機を設置し、 患者様の家の近く、帰宅途中、会社や駅の近くの保険薬局 等にFAXしておくことにより患者様の移動中にお薬が用 意できるよう利便性の向上にも配慮しております。

院外処方についてご不明な点は、当センター薬剤部に お申し出ください。

薬剤部調剤室:電話 042-984-4161

画像診断科

教授:田中 淳司

画像診断科ではCTとMRIを軸に全身のあらゆる部位の 画像診断を行います。C棟の2階にある画像診断科には最 新鋭の画像診断機器が備えられており、短時間で精密な 検査ができるようになっています。CT装置は2台あり、 うち1台は64列マルチスライスCTです。「64列」という のはX線を受け止めて画像情報化するセンサー部分が患者 さんの頭から足の方向に64列取り付けられているという 意味で、X線発生器とセンサー部分が向き合って患者さん のまわりを1回転する間に64枚の画像が得られるもので

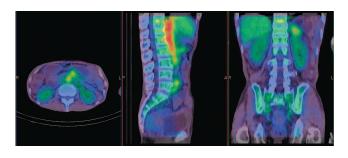
す。この装置を用いると、たった1回息を止めていただく だけで胸部全体、あるいは腹部と骨盤全体を一度に撮影 してしまうことができます。MRI装置も2台あり、いずれ も最新鋭の装置がヨーロッパから搬入されました。

画像診断科は病院の中央を占めており、各病棟や外来 から最短距離で無理なく移動できるように設計されてい ます。検査までの待ち時間を短くすることで病院全体の 診療効率を高めるように職員一同張り切っておりますの でどうぞよろしくお願い申しあげます。

核医学科

教授:松田 博史

核医学とは、放射線を出す診断薬を注射して、薬剤の性 質を利用した機能画像を作成したり、治療をする分野です。 核医学検査は、PETとSPECTとに分かれ、測定装置が異 なります。当院のSPECTとPET装置は、最新機器で多列 CTが装備されています。異常部位を正確に知ることがで きるので、検査結果の信頼度が向上する機種です。写真は 腹部から骨盤のSPECT/CTの画像です。検査全体の被曝 量は、通常のCTよりも少ないので心配いりません。F-18-FDG-PETは、腫瘍の診断に不可欠な手段となっておりま すが、当院では検査待ち時間も快適に過ごしていただける ように待機室が設計されております。SPECTでは、診断



薬剤の種類により脳血流、心筋血流、骨など多くの検査が あります。多くの核医学検査は、院内のみならず、他院様 から核医学科に直接ご紹介いただくことも可能です。

放射線腫瘍科

教授: 土器屋 卓志

国際医療センターの名にふさわしく世界でトップレベ ルの放射線治療装置がそろいました。写真はわが国で最初 に稼動する高精度の放射線治療装置です(図1)。この装置 を使い、早期がんのピンポイント照射(定位照射)のみな らず、少し進んだがんでも集中的に照射する強度変調放射 線治療 (IMRT) を行います。どのような放射線治療をする かという計画は最新技術を集めた装置(放射線治療専用 CTや放射線治療計画装置など)で一人ひとりに合わせた オーダーメイドの治療計画を立てます。またがん組織に直 接に細い管や針を刺して中から照射する小線源治療も充 実しました。前立腺癌や子宮頚癌などはこの治療でとても 治療成績が良くなります。がんの放射線治療にはいろいろ な方法がありますが、そのすべてを行える陣容が整いまし た。これらの装置を動かし、当医療センターの命題であり ます「患者さん中心の治療を行う」意欲にあふれたスタッ フもそろっております。他科との専門のスタッフとも力を 合わせて、最新のがん治療を提供いたします。



図1:最新の高精度放射線治療システム TRILOGY トリロジー

あい

中央放射線部

## 技師長代行:伊勢谷 修

## -将来性をみこした施設の設計と運用-

中央放射線部では、X線を利用した画像検査や核医学による画像検査の他に高エネルギーのX線を使用した放射線治療業務等を担当しています。

3年前から国際医療センター中央放射線部の設計・運用・装置の導入に携わってまいりましたので、開院をむかえ一つの夢が実現した感があり、感動しております。

本病院は、埼玉県西部地区の救急医療の充実を図るため、心臓の冠動脈造影が可能な64列のCT装置 (GE社製Light Speed VCT)・脳血管の造影装置 (Philips社製 Aullura Xper FD20/10) などを導入し、センター内にもう一つ、病院があるぐらいの装置を備えております。将来救急部門にもMRI装置が必要となれば、導入できるよう設計されております。

2階の画像診断では、最新鋭のCT装置2台・MRI装置2台を導入いたしましたが、将来を考えCT装置2台・MRI装置1台のスペースと4階の心臓血管の造影装置室も今回導入した2台の装置の他にもう1台増設可能な室を確保しております。



CT装置 (GE社製Light Speed VCT)



脳血管の造影装置 (Philips社製 Aullura Xper FD20/10)

また、1階の核医学部門・放射線治療部門も同様に PET/CT装置2台・SPECT/CT装置・放射線治療装置 (VARIAN Trilogy) が今回導入され、更に将来に備え増設 可能な設計になっています。

今回、導入した最新鋭の装置を駆使して効果的な画像検査を行う為には、医師及び看護師等の医療スタッフの協力が必要不可欠となっており、このような体制をいち早く作り上げ、患者さんのニーズに応えていくのが、今後のわたし共の仕事であると考えています。

導入した装置や中央放射線部の紹介は、次回から広報に て掲載していきますので、ご期待ください。



PET/CT装置



SPECT/CT装置



放射線治療装置 (VARIAN Trilogy)

栄養部

次長:斉藤 寅武

#### 国際医療センター栄養部の紹介

栄養部は、外来患者さんへの「栄養とお食事の相談」や 「入院患者さんの栄養管理」の業務に携わっております。

病院の管理栄養士は11名です。院内の医師やコメディカルや事務の方々と一つになって患者さんの療養のお手伝いをさせていただきます。その一つは、管理栄養士も全ての入院患者さんの栄養状態を把握させていただく為に、病室にお邪魔させていただき、お一人おひとりの栄養管理計画を立て病態の回復に繋がるようにしておりますので、御協力をお願い致します。

お食事の内容は医師から電子カルテでオーダーされ、栄養部では食事(栄養)情報を取り込み、お一人おひとりの治療献立に繋ぎます。

食事サービスは「エームサービス株式会社」に、献立作成・材料注文・納品・調理・盛り付け・配膳ワゴン・下膳ワゴンの搬送・食器の洗浄までお願いしています。又、食事作りは新調理システムの導入や強化磁器食器を一部使用したりと従来の病院給食の不備な点の改善に取り組んでおります。



食事セット例

病棟食堂では、限られた時間ですがエームサービスのスタッフが居りますので、医師から許可された患者さんはぜひ病棟食堂を御利用下さい。眺望も素晴らしく明るい雰囲気の中で食事を召し上がっていただく事ができます。

国際医療センターの食事は、限られた条件の範囲ですが温かい料理は温かく、冷たい料理は冷たく御提供出来るよう、食事の搬送に温冷配膳ワゴン(温65℃・冷5℃)を使用しております。大変大きなワゴンですが優しいピンク色です。

食事は「エームサービス株式会社」と「病院の管理栄養



食堂風景

士」との双方で、日々の献立・食材料・調理工程・適正温度・盛り付け・洗浄まで確認、相談しながら、より患者さんに喜んでいただけるよう努力致しております。

尚、入院中の患者様及び外来に受診された患者さんに対して医師より栄養指導の依頼のあった方に対して依頼内容に添った栄養指導を行っています。入院中の患者さんには管理栄養士が病棟を巡回し極め細かな栄養指導が実践できるよう考えています。その他外来を受診されて栄養指導をご希望の方は先生にその旨お伝え下されば、医師から管理栄養士に指導依頼が伝わります。御活用下さい。



温冷配膳車の搬送風景

中央検査部検体検査、輸血・細胞移植部はC棟3階に位 置し、医師2名と検体検査16名、輸血・細胞移植部8名の臨 床検査技師で構成され、ワンフロア化されたスペース内 で検査を行っています。検体検査部門は肝機能、腎機能、 脂質、血中薬物濃度、血算、血液凝固、尿一般、腫瘍マー カー、心筋マーカー、感染症、細菌検査などを行い、輸 血・細胞移植部では血液型、不規則性抗体、交差適合試験、



血液製剤の保存・管理などの業務を行っています。また、 最新の機器を配備し、夜間、日祭日も同一の機器を使用し て24時間体制で検査を行って診療支援をしています。ほ とんどの検査結果は電子化されて検査システムから電子 カルテに送信されます。各外来の診察前検査や緊急検査 は、気送管を使って検体を検査室に搬送して検査を行っ

中央検査部

検体検査





包括的がんセンター採血室



心臓病センター採血室



通院治療センター採血室

採血室は心臓病センター、包括的がんセンター、通院治 療センターの各外来3ヵ所に配置されており、臨床検査技 師が中心となって専属の看護師、朝一番の採血には外来 看護師の協力も得て採血を行っています。

正確で精度の高い検査結果を迅速に提供し、医療安全 に最大限の注意を払いながらチーム医療の一環を担うた め日々努力をしています。

生理機能検査部門は、種々の診断機器を用いて臨床診 断に必要な情報を患者様から直接検査する部門です。

調べる分野は脳、心臓、肺、腹部臓器、体表面臓器、神 経系など様々な分野にわたります。各種検査法の種類お よび検査用の装置も日に日に進歩し、以前は数日の入院 検査が必要であった検査も、現在では外来で簡単に、そし てできるだけ苦痛を伴わないで、楽に検査ができるよう になってきました。

中央検査部 生理機能検査のご案内

各診療科と密接な連携をとりながら、それぞれの分野 において、最新の装置を使ったより精度の高い診断がで きるよう努めています。

尚、当国際医療センターでは、できる限りお掛かりの外 来診療ブース内で関連の検査が受けられるように検査室 を配置しております。

当国際医療センターでは、医師や検査技師により下記の 検査を実施しております。

#### 循環器に関連する検査として

| 1. 標準12誘導心電図検査                          | A棟2階 心電図検査室、<br>C棟2階 生理機能検査室  |
|---|-------------------------------|
| 2. 24時間 (ホルター) 心電図検査   3. 24時間血圧計       | - A棟2階 心電図検査室                 |
| 4. 運動負荷心電図検査(トレッドミル試験)                  | A棟2階 トレッドミル検査室                |
| 5. 血圧脈波検査(ABI/PWV)                      | A棟2階 心エコー検査室、<br>C棟2階 生理機能検査室 |
| 6. 心臓超音波検査 (心エコー検査ともいいます)<br>7. 血管超音波検査 | - A棟2階 心エコー検査室                |

#### 呼吸器に関連する検査として

| 8. 肺機能検査 | C棟2階 生理機能検査室 |
|----------|--------------|
|----------|--------------|

#### 神経・筋に関連する検査として

| 9. 脳波検査                       |      |         |
|-------------------------------|------|---------|
| 10. 筋電図・末梢神経伝導速度              | C棟2階 | 生理機能検査室 |
| 11. 大脳誘発電位(体性感覚誘発電位、聴性誘発電位など) |      |         |

#### その他の検査として

12. 超音波検査 (腹部・甲状腺・乳腺・その他)

D棟2階 エコー室







#### 生理機能検査室からのお願い

生理機能検査ではいろいろな御協力をお願いしており ます。例えば脳波検査では検査の前日から注意していた だく事や、呼吸機能検査のように息をこらえたり力いっ ぱい吐き出したりといった指示に従ってもらう、また、心 電図検査や心臓超音波検査ではでは服を脱いでもらうな どの御協力をお願いしております。このようないろいろ な指示やお願いは、診断や治療の際に必要となる検査デ





一夕を得るためのものですが、体調が悪い場合や、検査方 法について疑問点や分からないことがありましたら、医 師や検査担当技師に遠慮なくご相談や質問してください。 尚、検査予約をお取りになった際に、予約票をお渡ししま すが、その中にお受けになります検査の概要や、注意事項 を掲載しております。検査前に一読していただければ幸 いです。

〈ソーシャルワーカー〉 Message



#### 医療ソーシャルワーカーのご紹介

#### ソーシャルワーカーに話してみませんか?

病気になったり入院したりすると身体のことばかりでなく、さまざまな心配事が出てくることがあります。当院にはそのような心配事の相談をお受けするためにソーシャルワーカーがおります。

#### ソーシャルワーカーって?

ソーシャルワーカーは患者さんとご家族の「気持ち」と 「暮らし」を支える社会福祉の専門職です。

当院は「社会福祉士」の国家資格をもつソーシャルワーカー4名が皆様の御相談に対応しております。

#### 例えばこんな時…

#### ◇ 医療費について

- ・医療費はどれくらいかかるのだろうか。今後どのように支払っていったらよいだろう。
- 病気で働けなくなり、収入がなくなってしまった。どうしよう・・・。

#### ◇退院後の療養や転院について

- ・継続医療の確保が必要だが、地域の医療機関の情報を教えて欲しい。
- ・ 今自宅に帰るのは心配。療養先をどう探したらよい かわからない。
- ・家族が介護を担っていくのは難しいのだけど、誰か助けてくれないかしら?

#### ◇社会福祉制度や医療費助成制度について

- ・ 身体障害者手帳、介護保険ってどんなもの?
- ・高額療養費制度、特定疾患、生活保護等について知りたい。



- ◇ 病気との付き合い方はどうしたらよいの?
- ◇家族の生活についても相談したい。
- ◇考えを整理したい。
- ◇ 今後のことが不安なので、誰かに話を聴いてもらいたい等。

#### ソーシャルワーカーがご相談をお受けしています

「たとえ病気にかかったとしても、自分らしく生活をすること」ができるように、患者さんやご家族のお話やお気持ちを十分にうかがいながら、一緒に考えていきます。

また、必要に応じて院内の医師、看護師、その他のスタッフや地域の医療機関、往診医、訪問看護師、ケアマネジャー、社会福祉機関等と連携を図りながら、患者さんとご家族の暮らしを支援いたします。

相談内容については秘密を厳守いたします。 ご相談は無料です。お気軽に御相談ください。



#### がん相談支援センターについて

厚生労働省では、がん医療に関する情報の整備やがん患者さんやご家族の全人的なサポートを行うために、各地域に「相談支援センター」を設置することを推進しています。

当院の包括的がんセンターでは「がん相談支援センター」を設けて、患者さんやご家族及びこの地域の方々、医療機関からの相談等に対応しています。

#### <がん相談支援センターの役割>

- ① がん診療に係る一般的な医療情報の提供
- ② 地域の医療機関や医療従事者に関する情報の収集、紹介
- ③ セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
- ④ 患者の療養上の相談

- ⑤ 患者、地域の医療機関、かかりつけ医等を対象とした意識 調査
- ⑥ 地域の医療機関との連携
- (7) アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
- ⑧ その他、がん患者さんやご家族等の相談支援に関すること
  - ・子どもががんにかかっており、長期の闘病生活が予想 されると言われた。子どもの発達のこと、学校のこと、 兄弟への配慮、家族の生活等について相談したい。
  - ・再発の不安を抱えている。気持ちを聴いて欲しい。

「がん相談支援センター」へのご相談は、医療ソーシャルワーカー (御牧) までご連絡ください。

#### ご利用いただくには…

- ◇総合相談センター、がん相談支援センターにご連絡いただき、相談日時をご予約ください。 お急ぎの場合には、直接おいでください。
- ◇医師や看護師、外来や各病棟のコンシェルジュにお声がけいただいても構いません。患者さんやご家族がいらっしゃる場所にソーシャルワーカーが伺います。
- ◇ 英語、タガログ語 (フィリピン語) での相談もお受けしています。

#### 総合相談センター

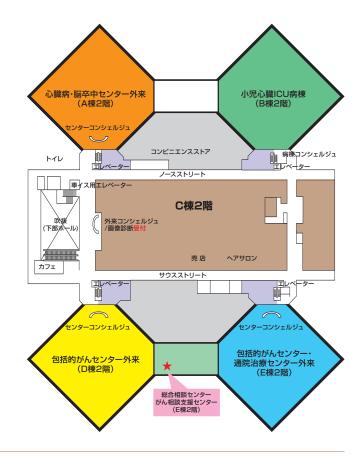
TEL:042-984-4106(内線:7054、7351)

がん相談支援センター

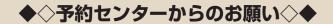
TEL: 042-984-4329 (内線: 7330、7350)

FAX (共通): 042-984-4475 (内線: 7934)

受付時間 8:30~17:00 (日・祭日を除く)







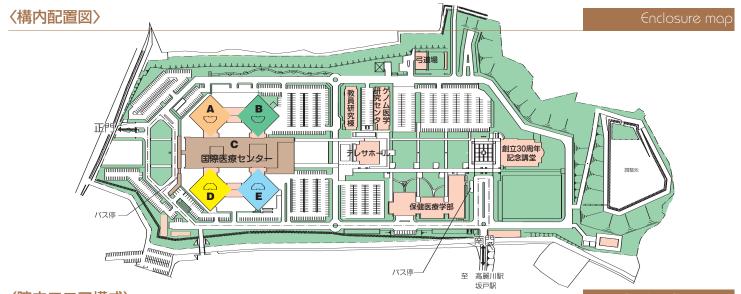
- ① 当センターは予約制を実施しております。
- ②初めて当センターを受診する方は、予約センターで初診予約を取得して頂きます。
- ③ 予約を取得できる方は、『他の医療機関からの紹介状をお持ちの方』、又は、 『包括的がん センター、心臓病センター、脳卒中センターの受診を希望する方』のみです。
- ④ 上記③に該当する方で予約なしで来院された方の診察は予約の方の後になりますので、長時間お待ち頂くこともあります。ご理解ください。
- ⑤ 再診 (次回の診察) 予約は、診察終了時に担当医と相談して決めて頂きます。予約日時は、 領収書に添付されている予約票で確認することができます。
- ⑥ 現時点では予約の変更は診察日時のみ受け付けており、検査・レントゲン等の検査日時の変更は受けておりません。当初の予約日時で検査を受けて頂くか、検査予約をキャンセルして頂き次回診察時に担当医と相談のうえ検査予約を再取得して頂くことになりますのでご注意ください。

なお、予約変更は、診療科によりかなり先になる場合があります。その場合は治療計画 の問題 もありますので、担当医と直接ご相談ください。

⑦ 予約センターは時間帯により、電話がかかりにくくなっております。ご迷惑をおかけしていることをお詫びいたします。

☆予約センター (平日8:30~17:00) TEL042-984-4411

※日曜・祝祭日の受付業務は行っておりません。



#### 〈院内フロア構成〉

#### Facility Floor map

|    | A棟                     | B棟               | C棟  | D棟          | E棟                     |
|----|------------------------|------------------|---|-------------|------------------------|
| 6F |                        |                  |   | 病棟          | 無菌病棟                   |
| 5F | 病棟                     | 病棟               | ヘリポート   | 病棟          | 病棟                     |
| 4F | CICU、病棟                | HCU、病棟           | 手術部門、心カテ、病理   | ICU、HCU     | 病棟                     |
| 3F | CCU、病棟                 | 脳卒中センターICU<br>病棟 | 手術部門、中央検査部<br>ラーニングセンター (患者図書室)<br>リハビリテーションセンター                      | 病棟          | 病棟                     |
| 2F | 心臓病センター外来<br>脳卒中センター外来 | 小児心臓ICU<br>病棟    | 画像診断科<br>生理機能検査<br>内視鏡検査治療センター<br>カフェテラス・コンビニ<br>ノース・サウスストリート         | 包括的がんセンター外来 | 通院治療センター<br>臨床試験支援センター |
| 1F | 救命救急センターICU<br>病棟      | 救命救急センター<br>外来   | 正面玄関、コンシェルジュ<br>入退院ラウンジ<br>総合相談センター<br>核医学科PET<br>核医学科SPECT<br>放射線腫瘍科 | 薬剤部         | 栄養部                    |

#### 〈交通案内〉

#### ○ 電車を利用される場合

池袋駅 (東武東上線43分) 坂戸駅 (東武越生13分) 東毛呂駅 (路線バス約15分) 池袋駅 (東武東上線30分) 川越駅 (JR川越線25分) 高麗川駅 (路線バス約10分) 大宮駅 (JR埼京線17分) 川越駅 (JR川越線25分) 高麗川駅 (路線バス約10分) 八王子駅 (JR八高線13分) 拝島駅 (JR八高線30分) 高麗川駅 (路線バス約10分)

#### ○ 車を利用される場合

圏央道圏央鶴ヶ島インターより10Km。約15分。 県道30号(飯能寄居線)沿い

住所: 〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1

TEL: 042-984-4111 (番号案内)

#### 埼玉医科大学国際医療センターニュース

May 2007 **創刊号**【院内配布用】

編集・発行 埼玉医科大学国際医療センター総務課

TEL: 042-984-4128 FAX: 042-984-0432

発行責任者尾本 良三発行日平成19年6月1日

※本紙記載の写真・記事の無断転載および、複写を禁じます。

